

# 呉で輝く若者たち



vol.115

いでもと さくら  
井手元 咲良 さん

### プロフィール

25歳。吉浦在住。2022年女子美術大学卒業。2024年女子美術大学院美術研究科を卒業後、「Cité Internationale des Arts パリ国際芸術都市」へ研究員として派遣。2021年「第42期国際瀧富士美術賞」グランプリ、2022年「第57回神奈川県美術展」大賞、2023年度第25回「女子美パリ賞」受賞。10/4(土)~10/24(金)東京目黒区「RISE GALLERY」、10/18(土)~11/7(金)東京銀座で個展を開催予定。

見たままを丁寧に描く『写実』という手法。そこに、自らの感情や社会の気配を織り交ぜて表現する人がいます。美術作家の井手元咲良さんは、パリに滞在した後、現在、ここ呉を拠点に制作活動を行っています。

井手元さんが描いている舞台は「庭園」。大学時代、旅行で訪れた鎌倉の日本庭園に魅了されたと言います。「安らぎ」という感情が大きく芽生えた瞬間でした。その日から、私が描く絵には、自然の美しさや居心地の良さを感じてもらえるような描写を強く取り入れるようになりました」と話してくれました。



▲井手元さんが作成した三次元作品



インタビューの様子はこちら▶



「フランスの国際美術展では、展示空間全体を使った立体的な作品にも魅了されました。今後は三次元作品にも挑戦し、世界で活躍できる画家を目指したい」と語る井手元さん。これからも現実と想像を融合した『理想の世界観』を模索し表現していきます。

「パリの庭園は花や植物を刺繍のように見せたり、造形物を左右対称に配置したりと、人工的な美しさの特徴。自分の作品制作の幅が広がったと思います」と話します。滞在時に、庭園のスケッチを元に空想の風景を描き上げ、今年の6月に個展を開催。来場者からは「初めて見るタッチで、非現実的なところがおもしろい」「緑の描写が素敵」といった声が寄せられました。「画家として良いスタートを切れたと思います」と、にっこり笑います。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています

- 再生紙を使用しています
- QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

## 10言語対応「市政だより くれ」デジタルブックで配信中！



- ブラウザでもアプリでも、スマホやタブレットで読める
- 文字サイズを調整できる
- 動画や写真も楽しめる
- 10言語で読める・聞ける（音声読み上げ対応※）

無料 FREE APP



### 【対応言語】

日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）  
韓国語、タイ語、ポルトガル語（ブラジル）  
スペイン語、インドネシア語、ベトナム語  
※ベトナム語は音声読み上げに対応していません。



・ブラウザ版は音声読み上げには対応しておりません。音声読み上げには、無料アプリ（カタボケバ）のインストールが必要です。